

2022年04月01日リリース
先行予約特典あり

知財人材教育の支援を事業とする
株式会社知財の楽校と株式会社知財塾が
両者の強みを持ち寄った
パッケージコンテンツとして
知財人材の新人向け教育プログラムをリリースします



Co-produced 知財新人教育プログラム



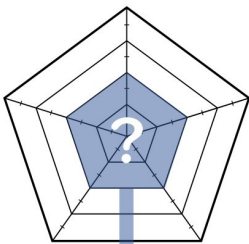
知財塾



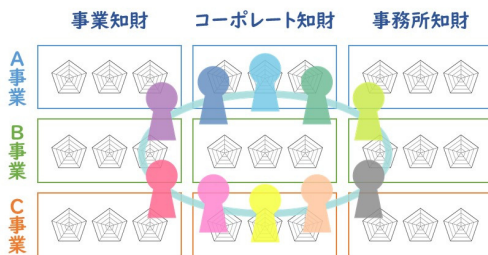
株式会社
知財の楽校

知財人材のスキルセット

知財活動の複雑化に伴い人材育成が多様化



標準スキルセット



多様な知財人材の共通言語となる知識体系
(特異スキルを伸ばす為に効率化が必要)

事業・研究開発に求められる知財活動が複雑化することに伴い、それらを支える知財の人材育成も急速に多様化しております。事業や研究開発の現場に入り込んだ知財、
全社コーポレート視点の知財、
法律や実務に精通した事務所目線の知財、
多種多様な "尖った" 知財人材の育成が必要です。
一方で、特殊性のある知財業務においては、
そのベースとなる標準的なスキルセットを新人の頃から獲得しておくこともまた重要と考えております。
共通言語としての標準的な知識体系を醸成することで、
コミュニケーションの質は格段に上がり、
その後の成長スピードが飛躍的に向上するからです。

CONCEPT OF PROGRAM

株式会社
知財の楽校

事業情報 X 技術情報 X 特許情報

研究開発計画を練る

新技術を生み出す

〔自社特許〕 出願をする

〔自社特許〕 権利にする

事業を促進し推進する

〔他社特許〕 影響を計る

〔他社特許〕 対策をする

特許から情報を得る為に必要な知識

特許対応を先読みする為に必要な知識

これまでの特許教育は特許担当の実務目録の内容

株式会社知財の楽校の公式HPより (<https://www.patentamuse.com/>)

知財塾

知財塾の特徴

- POINT 1 実務で使える「ドキュメント作成」がゴール
- POINT 2 「演習」形式で「複数の事例」を学習
- POINT 3 各種ITツールで「オンライン学習」効果を最大化

株式会社知財塾の公式HPより (<https://chizaijuku.com/>)

事業・開発との繋がりを重視した知財の基礎知識体系



知財実務の実践力を重視した演習型のスキル習得

株式会社知財の楽校は、事業・開発との繋がりを重視した知財の基礎知識体系の構築に取り組んでおります。
… 企業の知財業務寄りの目線
株式会社知財塾は、知財実務の実践力を重視した演習型のスキル習得プログラムの構築に取り組んでおります。
… 事務所の知財業務寄りの目線
今回ご提供するプログラムでは、両者が上記の各目線で制作してきた動画コンテンツをパッケージ化することにより、企業知財×事務所知財の標準スキルをトータルで習得することをコンセプトにしております。

詳細 プログラム

カリキュラム

動画コンテンツを3か月の期間
自由に視聴して学習することができます。

知財の楽校の提供動画

特許に関する厳選した知識を図解を用いて
短時間の動画に凝縮してありますので、
効率的に基礎固めをすることができます。

事業・研究開発との繋がりを
教育の入口で醸成することがポイントです。

- ・ 導入編 全5本
- ・ 権利化編 全4本
- ・ 出願編 全5本
- ・ 他社特許対策編 全5本

知財塾の提供動画

知財塾プロデュースの実務力養成のゼミから
お好きな2テーマを選択することができます。
詳しいラインナップは公式サイトをご覧ください。

販売時期

プログラムの開始は2022年4月です。
次年度の新人教育からご利用頂けます。
1年中お申込み可能ですので、
転職者や転入者を含め、
柔軟にご検討頂けます。

販売価格

新人一人当たり ¥190,000 (税抜)

中堅社員が新人教育に投入しているコストを
鑑みるとお得な内容になっています。

先行特典実施中！

2022年3月までの間に4月からの分の
ご成約を頂いたお客様には5%OFFの特典！

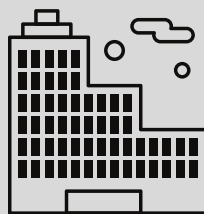
サンプル動画

パッケージに組み込まれている両社の動画の
サンプルを一部公開しております。
導入検討の参考にして頂けます。

<https://www.patentamuse.com/collaboration-contents/educational-program-ip-fresher/>

お問合せ先

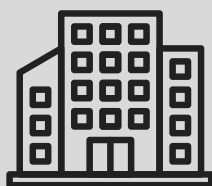
株式会社知財の楽校のホームページから
お気軽にお待ちしております！



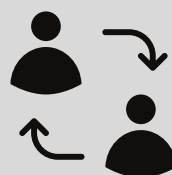
大企業



新入社員



中小企業



異動者



スタート
アップ



転職者



特許事務所



知財人材の新人教育
幅広く活用可能